～ モナ・リザの微笑 ～

私の本棚のヴァザーリ著の「ルネサンス画人伝」のレオナルド・ダ・ヴィンチの項に、このように描かれている。「睫毛は繊細きわまりない感覚なくしては描きえないものである。眉毛は毛が肌から生じて、あるいは濃く、毛根によってさまざまに変化している様子が描かれているため、これ以上自然であることは不可能である。」これは西欧絵画で最も知られている肖像画モナ・リザのことで、そしてさらに「レオナルドのこの作品には、心地よい微笑がある」と続けている。

フィレンツェの建築家、画家、著述家のジョルジュ・ヴァザーリが、著書「芸術家列伝」初版を出したのが1550年である。レオナルドが、モナ・リザを手元に置いたままフランスで没したのは1519年で、ヴァザーリは1511年生まれたから8歳の時であり、肖像画はその後、フランス王が入手したので、ヴァザーリは見る事が出来なかったのに、眉毛の様子まで詳述できたのは、どうしてなのか。

フィレンツェの出版社が、2004年に出版した小冊子「モナ・リザ」によると、著者の経済学者がモナ・リザに魅せられて、モデル探しに没頭し、古文書を30年間探索して、ついに、フランチェスコ・デル・ジョコンドの記録を発見した。結婚した相手が、リザ・ゲラルディーニ。モナ・リザ・デル・ジョコンドだった。フランチェスコは、裕福な商人で共和国の政治にも参画していて、公証人として成功していたピエロ・ダ・ヴィンチとも知り合うことになり、愛する妻リザの肖像画を、その息子のレオナルドに依頼したとの推察には納得がいく。リザ・デル・ジョコンドは、60歳で夫に先立たれた後、1542年に亡くなった。63歳だった。ヴァザーリが、その肖像画の記述を詳細に披露したのが、リザの死後8年経ったヴァザーリ31歳の時である。彼女の肖像画の様子を、そのモデルから直接詳しく聞いたとしたら「芸術家列伝」の書き振りにも頷ける。

本を読むということは、知的探検である。

(27期 美術学科 松本 政廣)

～ 学園の図書室 ～

とうとう2年生もあと少しになりました。鯉城学園の図書室を利用し始めたのは、1年生の夏休み過ぎた頃だったと思います。当時、50肩に悩まされ、腕が動きにくく夜も痛くて目が覚めてしまうことが続いていました。腕や肩の痛みを何とかしてほしい、いつまでこの状態が続くのかとか、精神的に滅入っていました。

そんな時、地域の図書館を利用していたことを思い出し、学園の図書室を軽い気持ちで覗いてみようと思いました。クラブの人から「新刊書が早く読めるよ。」と教えていただいたことが、大きな弾みになりました。はじめは、いろいろ記入することも「面倒くさい。」と思いましたが、慣れてくると、「あっ！〇〇学科の誰さん。クラブの誰々さん。」と、知り合いの方を見つけることも楽しみになりました。

今注目の作家さんの本以外の本も読むようになったことが、私にとっての大きな収穫でした。本の世界に浸っているうちに、腕や肩の痛みはすっかりなくなっていました。今後とも利用させていただきたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

(27期 地域学科 佐々木 美代子)

※ 投稿をお待ちしております。700字程度まで。事務室の図書係までご連絡ください。

※ よく読まれている本 ・マルセル…高樹のぶ子 ・私はマララ…ユスフザイ、マララ ・穴…小山田浩子
・昭和の犬…姫野カオルコ ・恋歌…朝井まで ・約束の海…山崎豊子

※ 1月～3月の図書室利用状況（1～3月）

	入室者数	貸出数
1年	387	323
2年	420	348
OB	496	466
合計	1,303人	1,137冊

新刊図書（1月～3月）

著者名	著書名	出版社名
岩田 重則	宮本常一—逸脱の民俗学者	河出書房新社
堺屋 太一	団塊の秋	祥伝社
真山 仁	グリード 上	講談社
真山 仁	グリード 下	講談社
塩野 七生	皇帝フリードリッヒ二世の生涯(上)	新潮社
塩野 七生	皇帝フリードリッヒ二世の生涯(下)	新潮社
小山田 浩子	穴	新潮社
姫野 カオルコ	昭和の犬	幻冬舎
宮山 加代子	木版画を作ろう—版画技法入門講座	小学館
白洲 次郎	ほんもの 白洲次郎のことなど	新潮社
中日新聞経済部	時流の先へ	中日新聞社
山崎 豊子	約束の海	新潮社

鯨城会図書ボランティアの皆様からの寄贈新刊図書（1月～3月）

著者名	著書名	出版社名
岸 恵子	私のア・ラ・カルト	朝日文庫
北原 亜以子	たからもの—深川滯通り木戸番小屋	講談社
ブラウン、ダン	インフェルノ 上	KADOKAWA
ブラウン、ダン	インフェルノ 下	KADOKAWA
冲方 丁	はなとゆめ	KADOKAWA
津村 節子	三陸の海	講談社
伊集院 静	ノボさん—小説正岡子規と夏目漱石	講談社
ユスフザイ、マララ	私はマララ	学研パブリッシング
朝井 まてか	恋歌	講談社
渡辺 和子	面倒だから、しょう	幻冬舎
宮部 みゆき	ペテロの葬列	集英社
中野 京子	名画の謎	文藝春秋
一橋大学経済学部	教養としての経済学	有斐閣
山本 文緒	なごさ	KADOKAWA
阿部 龍太郎	五峰の鷹	小学館
坂東 真理子	60歳からしておきたいこと	世界文化社
伊坂 幸太郎	首折り男のための協奏曲	新潮社
ポプラ社編集部	笑いあり、しみじみありシルバー川柳<一期一会編>	ポプラ社
ポプラ社編集部	シルバー川柳<2>「アーンして」むかしラブイマ介護	ポプラ社
ポプラ社編集部	シルバー川柳<3>来世も一緒になろうと犬に言い	ポプラ社
長沼 毅	地球外生命	岩波新書
湯川 豊	植村直巳・夢の軌跡	岩波新書
澤田 誠	なぜ名前だけがでてこないのか	誠文堂新光社